



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる

第54期

中間株主通信

2019.4.1～2019.9.30

株式会社ダイショー

証券コード：2816

株主の皆様へ



代表取締役会長 CEO

松本 洋助



取締役社長 COO

阿部 孝博

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第54期・第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の事業概況をご報告いたします。

食品業界におきましては、人口減少および個人消費の停滞が長期化するなか、販売競争が激化の一途をたどっている一方で、お客様の差別化ニーズへのきめ細かな対応が求められています。また、人手不足にともなう人件費や、物流コストの上昇など、厳しい経営環境下での事業運営が続いています。

このような状況のもと、当社では「成長」と「構造改革」を掲げた

前3カ年計画の反省と成果を踏まえ、「新時代を勝ち抜くための挑戦と変革」をテーマに掲げ、2022年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画を策定し、収益構造の改革と持続的成長の実現に向けた取り組みを本年4月より開始しました。具体的には、「主力製品の集中販売」「業務用製品のさらなる飛躍」「新製品の開発」「次世代の組織づくり」という4つの基本施策を通じ、競争力と収益力の高い主力製品をコアとする事業活動の推進を加速するなど、当社の強みをさらに伸ばすことを目標としています。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、99億60百万円(前年同期比100.9%)となりました。利益につきましては、原材料コストが想定範囲内で推移した一方で、販売競争の激化にともない広告・販促企画活動など後方支援に積極的投資を行ったことや、物流コスト上昇の影響が大きく、営業利益が1億9百万円(前年同期比54.8%)、経常利益1億69百万円(前年同期比80.8%)、四半期純利益は1億1百万円(前年同期比80.8%)となりました。また、中間配当につきましては、前年同期と同額の1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第54期中間決算および上期の取り組みへの評価をお聞かせください。

液体調味料群においては、小売用の主力製品である「焼肉のたれ」類が順調に推移しました。また、話題の人気メニューがご家庭で簡単に楽しめる「チーズタッカルビの素」、焼肉のたれの新フレーバー「焼肉通り 香味野菜しょうゆ味」などの新製品が売上を牽引しました。鍋スープ市場では、『博多もつ鍋スープ』が順調な売行きを示すなか、「贅沢風味」「辛味」「単身、少人数」「野菜をおいしく」をキーワードとする新製品を多数投入しました。なかでも4種類のチーズをバランスよく合わせたチーズのうまみたっぷりの『クアトロチーズ鍋スープ』に代表される「贅沢風味」の鍋スープが好調な滑り出しを見せています。業務用では、販売チャンネルごとに専任部署の増設と人員の拡充を図りつつ、メニュー開発・提案の強化に努めるなどの継続的な新規開拓の取り組みが奏功し、精肉向けソース、惣菜向けのたれが売上に寄与しました。

粉体調味料群では、「主力製品の販売強化」という新中期経営計画(以下、新中計)の取り組みも貢献し、『味・塩こしょう』シリーズ

が詰め替え用中心に堅調に推移しました。業務用では、各販売チャンネルに特化したラインアップの拡充により、精肉向けや惣菜向けの売上が大きく伸びました。

その他調味料群では、新製品「トマトがおいしい もち麦サラダ用セット」を投入し、主力の「レタスがおいしい パリ麺サラダ」とともに売上を牽引しました。

主力製品販売へのテコ入れや、戦略分野である業務用製品の積極的な製品投入、販売チャンネルごとの製品ラインアップ拡充や組織の再編など、新中計の実現に向け、着実に土台を築くことができた上期であったと評価しています。



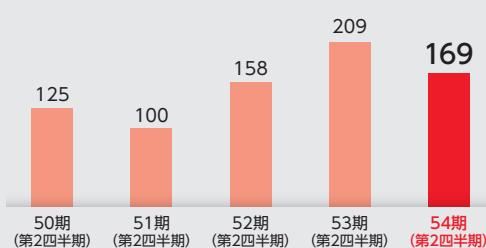
新中計策定の背景と目標についてお聞かせください。

当社の設立から半世紀が経過し、事業環境の変化は年々スピードを増しています。人口減、個食化、長期化するデフレやネット社会など、次々と市場環境が激変していくなかで、新中計ではダイショーの「強み」を再定義することから始めました。そこで、戦略の大黒柱として掲げたのが「ロングセラー製品の

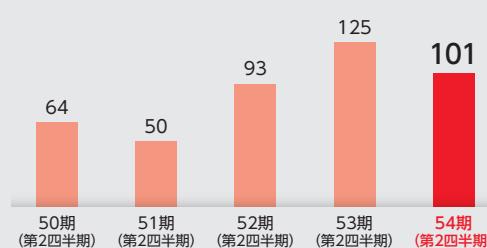
売上高 | 単位:百万円



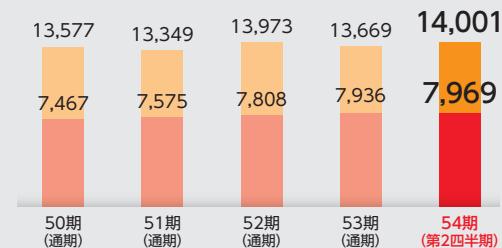
経常利益 | 単位:百万円



四半期純利益 | 単位:百万円



総資産/純資産 | 単位:百万円



強化」です。

年間400種類を超える新製品を市場に送り出す当社にとって、創業時からお客様のご支持を賜ってきた『味・塩こしょう』や『焼肉一番』などは依然として大きな収益基盤であり重要なブランド資産です。当社ではまず、こうした長寿主力製品についてお客様の声をリサーチし、厳格かつ客観的な強み分析を行うことで製品改良を重ね、こうした取り組みから得られた知見をチャネル別のきめ細かな販売計画の立案やセールストークに反映しつつ、新たな購買層の開拓につなげてまいります。

その一方で、新製品開発にも注力し、小売用では生鮮三品の素材と連動した提案型製品のラインアップ強化や、『コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ』に代表されるコラボ製品開発も加速させてまいります。

また、販売チャネルごとに特化した開発・販売体制を構築しつつ、市場開拓や売り場の活性化に貢献し、業務用の成長市場である惣菜工場向け調味料の販売体制の増強や、コンビニエンスストア各社の海外展開に合わせた海外向け製品の販売も強化してまいります。さらに、10月には関東工場にボトル製造ラインを増設し、販売拡大の基盤を強化しました。

新中計3カ年の最終年度となる第56期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績目標として、売上高240億円、経常利益12億円、経常利益率5%を掲げております。

Q 下期への抱負および株主の皆様へのメッセージをお願いします。

10月よりスタートした消費増税の今後の影響に加え、気候変動にともなう暖冬などの天候不順の影響が懸念される下期ですが、新中計に掲げた4つの基本施策を精力的かつ実直に遂行

してまいります。第54期通期の業績見通しとしましては、売上高210億円、営業利益5億10百万円、経常利益5億700百万円、当期純利益3億600百万円を予想しております。

創業者と先輩社員たちが築きあげた「おいしさで・しあわせをつくる」を理念とする当社の食文化創造の意志を継ぎながら、「お客様からの信頼」「技術・創造への挑戦」「社員相互の信頼」という社是や、具体的な行動を定めた「行動規範」を社員と共有しつつ、新時代を勝ち抜くための挑戦と変革という新中計のテーマを一丸となって追求し、ダイショーらしいユニークな製品と、多様なお客様にお喜びいただけるサービスを提供し続けることで企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆様への利益還元につきましては、今後も、業績の見通し、配当性向などを総合的に判断しつつ、長期安定的な配当の継続を基本方針とさせていただきます。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



主な対象製品

500gから2kgまでのボトル形態の製品を生産します



焼肉通り 厨房王
にんにくしょうゆ味 炭火焼鳥のたれ



秘伝 焼肉のたれ 塩キャベツのたれ

**関東工場にボトルラインを
新設しました**

関東工場(茨城県小美玉市)では、「たれ」「味・塩こしょう」といった主力製品を製造しています。このたび、『秘伝 焼肉のたれ』に代表される、ボトル形態の製品を生産するラインを導入。2019年10月より稼働を開始しました。

目的

これまででは九州工場でしか製造できなかった製品も関東工場でも製造できるようになりました

新設により

- 生産能力が増強され、ボトル製品の販売強化に対応(安定した製品供給体制が整い、年間2,000t、生産能力がアップします)
- 東日本エリアにおける配送リードタイムの短縮と物流費削減
- 震災等のリスク回避(BCP)



冷却により品質劣化を防止



金属検出器とウェイトチェッカーで安全を確認



全自動で箱詰めされ、出荷で安全を確保

「うにくしゃぶ鍋用スープ」

牛肉×雲丹＝至福の味、ご家庭でお手軽に

ウニは高級食材のイメージがありますが、近年では「和牛と雲丹のすき焼き」、「うにくしゃぶ」、「うにく」など、贅沢なカジュアルメニューが話題となっています。特にウニと牛肉と一緒に食べる「うにく」は、2つの味が絶妙なバランスで組み合わせると、牛肉の甘み・うまみがウニの香りによって引き立てられ、食べ合わせの相性は抜群です。

そこで、ご家庭でウニと肉の極上コラボが楽しめるしゃぶしゃぶ用スープを開発しました。

ウニと牛肉が実は相性がよいという意外性の驚きと、高級食材であるウニの香りを楽しみながら牛肉をしゃぶしゃぶする贅沢な食事、これらの感動的で日常とは異なる体験を提供できる商品です。



鍋のあとには!

うにポナーラ

開発担当者からひと言



「うにく」とは、「うに」と「にく」を組み合わせた料理です。ウニの香り、超特選しょうゆのうまみ、西京みその甘み、利尻昆布のだしが調和した、つくだれいらずのしゃぶしゃぶ用スープです。

ウニの香るスープで、お肉をしゃぶしゃぶして「うにく」の味わいをお楽しみいただけます。

小売用NB商品開発課
岡田 正亀



こんなアレンジも!

洋風ロールキャベツチーズ
スープ仕立て

チーズ市場はここ数年、拡大傾向にあり(富士経済「食品マーケティング便覧」、昨年度のチーズ鍋市場は前年比475%の驚異的な伸びを見せました(日経POS情報サービス)。また、SNSでは“やみつきメニュー”や“伸びるチーズメニュー”などが話題になっています。当社では、2009年以来「チーズ鍋スープ」を取り扱ってきましたが、トレンドをとり入れた新しいチーズ鍋スープを投入し、市場でのシェア拡大を図ります。

「クアトロチーズ鍋スープ」は、クリーミーな「カマンベールチーズ」、爽やかな酸味の「クリームチーズ」、深いコクとうまみの「ゴダチーズ」、濃厚な風味の「チェダーチーズ」をバランスよく合わせ、白みそ・ポーク・ガーリックを効かせた洋風の鍋スープです。チーズ感たっぷりのまろやかな味わいは、鶏もも肉、キャベツ、ホウレンソウ、ジャガイモ、ニンジン、エリンギなどによく絡みます。

開発担当者からひと言



特徴の異なる4種類のチーズがまろやかな味の“カルデット”を生み、白みそ・ポーク・ガーリックの風味が効いた洋風の鍋スープです。

各々のチーズが持つ特徴を考慮し、バランス調整を行い、適度な「とろみ」をつけることで口当たりがなめらかに感じられるよう工夫しました。

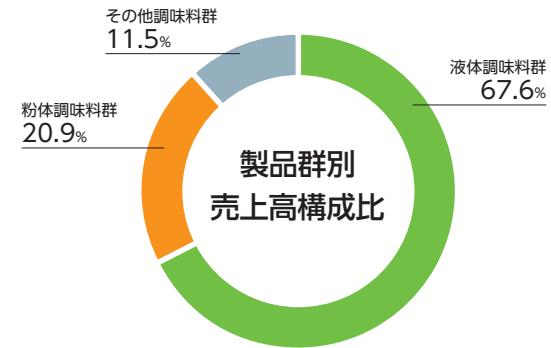
小売用NB商品開発課
鈴木 いづ美



「クアトロチーズ鍋スープ」

4種類のチーズが奏でるまろやか味のカルデット

決算の概要



売上高	99億60百万円	前年同期比	0.9% 増
営業利益	1億9百万円	前年同期比	45.2% 減
経常利益	1億69百万円	前年同期比	19.2% 減
四半期純利益	1億1百万円	前年同期比	19.2% 減

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用では主力製品の「焼肉のたれ」類が堅調に推移するなか、「チーズタッカルビの素」「焼肉通り 香味野菜しょうゆ味」などの新製品が売上を牽引しました。業務用では専任部署の増設・人員拡充やメニュー開発・提案強化など、新規開拓への継続的取り組みが奏功し、惣菜向け製品などが着実に伸長しました。

スープ

主力製品の販売強化の取り組みのもと、「博多もつ鍋スープ」などの定番製品は着実に売上を伸ばしました。また、新たに「贅沢風味」「辛味」「単身、少人数」「野菜をおいしく」をキーワードとした、多くの製品を投入しました。特に「クアトロチーズ鍋スープ」に代表される「贅沢風味」の鍋スープが好調な滑り出しとなりました。

ソース

小売用では、主力の「ローストビーフソース」「スペアリブソース」などは堅調に推移しましたが、その他の製品が苦戦しました。業務用では「アヒージョ風ソース」などの精肉向け製品の伸長もあり、着実に売上を伸ばしました。

ドレッシング

主力の「ちぎりレタสดレッシング」が苦戦し、売上は減少しました。

粉体調味料群

小売用は、主力製品の販売強化の取り組みのもと、「味・塩こしょう」類は詰め替え用を中心に堅調に推移しました。業務用は精肉向けや、惣菜向け、コンビニエンスストア向けなどで、ラインアップ充実などにより、大きく売上を伸ばしました。青汁は大変厳しい販売環境のなか、売上は減少しました。

その他調味料群

小売用は、新製品「トマトがおいしいもち麦サラダ用セット」を投入し、主力製品の「レタスがおいしい パリ麺サラダ」とともに売上を牽引しました。その他業務用製品は堅調に推移しました。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	5,938	6,203
固定資産	7,731	7,797
有形固定資産	6,524	6,556
無形固定資産	27	51
投資その他の資産	1,178	1,189
資産合計	13,669	14,001
負債の部		
流動負債	3,959	4,228
固定負債	1,773	1,803
負債合計	5,733	6,032
純資産の部		
株主資本	7,899	7,914
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,763	6,778
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	36	54
純資産合計	7,936	7,969
負債純資産合計	13,669	14,001

- 流動比率は146.7%と返済能力に問題はありません。
- 有形固定資産は関東工場における設備導入のため増加しております。
- 負債の増加は主に長期資金の借入によるものであります。
- 自己資本比率は56.9%と前期末より若干低下しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	当第2四半期累計 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
売上高	9,875	9,960
売上原価	5,780	5,869
売上総利益	4,094	4,091
販売費及び一般管理費	3,895	3,981
営業利益	198	109
営業外収益	18	67
営業外費用	8	6
経常利益	209	169
特別損失	9	0
税引前四半期純利益	200	168
法人税等	74	67
四半期純利益	125	101

- 売上高は、前年同期を0.9%上回り7期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努めましたが、減益となりました。
- 経常利益および四半期純利益も営業利益と同様、減益となりました。

新製品ラインアップ

 [340g] 糖質オフ すき焼のたれ	 [30g×4袋] 1人前から作れる選べる! ちゃんこ鍋スープ&キムチ鍋スープ	 [750g] 博多もつ鍋スープ 辛みそ味	 [750g] ごま豆乳鍋スープ	 [750g] 地鶏だし仕立て 塩鍋スープ	 [750g] 地鶏だし ちゃんこ鍋スープ 醤油	 [750g] 地鶏だし ちゃんこ鍋スープ みそ
 [750g] クアトロチーズ鍋スープ	 [195g] リニューアル しゃぶしゃぶ ぼんず	 [200g] リニューアル しゃぶしゃぶ ごまだれ	 [300g] CoCo 香番屋監修 サラダチキンで作る カレースープの素	 [750g] リニューアル CoCo 香番屋監修 カレー鍋スープ	 [750g] リニューアル CoCo 香番屋監修 チーズカレー鍋スープ	 [700g] うにくしゃぶ鍋用スープ
 [500g] 大根おでんスープの素	 [30g×4袋] 1人前からばばっと鍋 魚介だし醤油味&鶏だし塩味	 [750g] 野菜をいっぱい食べる鍋 なめらかクリーム仕立て	 [3g×28本] 生姜青汁 岩下の新生姜粉末使用	 [300g] 機能性表示食品 きのごスープの素 中華しょうゆ味	 [300g] 機能性表示食品 玉ねぎスープの素 オニオンコンソメ味	 [750g] 鮮魚亭 5種の旨だし鍋スープ
 [750g] 鮮魚亭 西京みそ鍋スープ	 [260g] 鮮魚亭 みぞれ煮のつゆ	 [140g] キムチチヂミの素	 [85g] キムチの 春雨炒め用セット	 [580g] リニューアル コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味 辛さ5倍	 [580g] リニューアル コイケヤ監修 カラムーチョ鍋スープ ホットチリ味	 [300g] 機能性表示食品 牛肉のテール風スープの素
 [300g] 機能性表示食品 鶏肉の豆乳スープの素	 [300g] 機能性表示食品 ウィンナーのポトフスープの素	 [10食入り] 朝に食べたい 5つの味のスープはるさめ	 … 精肉  … 青果  … 鮮魚  … 日記  … 食品			

会社概要/株式の状況

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
本社 東京本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
 福岡本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス http://www.daisho.co.jp
設立 1966年12月19日
資本金 870百万円
事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
従業員数 698名

役員 (2019年10月1日現在)

取締役 代表取締役会長CEO 松本 洋助
 取締役社長COO 阿部 孝博
 専務取締役 中西 昌至
 取締役 坂田 恵補
 取締役 松本 俊一
 取締役 古田 龍輔
社外取締役 本郷 伸介
常勤監査役 牛塚 良信
社外監査役 成清 一郎
社外監査役 馬場 正宏

株主優待ご案内



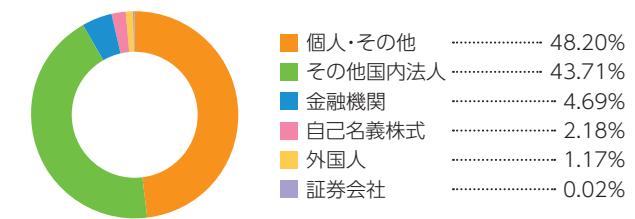
株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 24,000,000株
発行済株式の総数 …… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)
株主数 …… 17,097名
大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	24.75
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.07
松本賢子	853	8.64
ダイショー従業員持株会	293	2.97
松本洋助	206	2.08
株式会社西日本シティ銀行	180	1.82
株式会社福岡銀行	114	1.16

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況 (2019年9月30日現在)



株主優待制度の内容

- 対象となる株主様**
毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 贈呈品** 自社製品詰め合わせ
● 1,000円相当…100株以上
● 2,000円相当…500株以上
● 3,000円相当…1,000株以上
● 6,000円相当…5,000株以上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 http://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2816

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代)
<http://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(削減)しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080